

# 「ゆる親」になろう

子育て  
支援講座

たまりば理事長講演

高 津

親は少しずつこけて  
いるくらいがちょうど  
いい。そんな「ゆる  
親」であることの勧め  
を説く子育て支援講座  
が22日、川崎市高津区  
の子ども夢パークで  
開かれた。不登校や引  
きこもりがちな子ども  
たちの居場所づくり  
に取り組むNPO法人  
「フリースペースたま  
りば」の西野博之理事  
長が講演した。

(高田 俊吾)

日常の子育てを振り返る  
機会にしてみらおうと、高  
津区が主催。肩の力を抜い  
た「ゆる親」を勧める西野  
理事長の講演は好評を博  
し、一昨年から行われてい



「少し駄目くらいでいい」と呼び掛ける西野理事長  
＝川崎市高津区

る。この日は市内外の約50  
人が参加した。

西野理事長は、「子ども  
の将来を思つて」正しく育

てないといけない」という  
親の気持ちだが、実は子ども  
にとつては「親の期待に応  
えないといけない」という  
ストレスにつながると指  
摘。

「今の世の中は子どもた  
ちにとつて安心して失敗で  
きる環境なのか」と問題提  
起した。

その上で、「親は成功を  
望むものだが、世の中は思  
い通りにいかないことの方  
が多い。その時にものを言  
うのは失敗体験」と強調。  
失敗させまいと先回りする  
かのように、「完璧な子育て  
」を志向する必要はない  
とし、「正しい親」であろ  
うと頑張りすぎないで」と  
呼び掛けた。

横浜市鶴見区から参加し  
た2児の母親(37)は「子ど  
もが何かしでかすとつい怒  
鳴ってしまうが、子どもな  
りに意図や理由があるはず。  
そういったものと向き  
合うようにしたい」と話し  
ていた。